
平成 29 年度第 2 回彦根市環境審議会 会議概要

開催日時：平成 29 年 11 月 28 日(火) 13 時 30 分～15 時 05 分

開催場所：彦根市役所彦根駅西口仮庁舎 4 階 4D 会議室

【会議の主な内容】

1. 開会

2. 議事

(1) 第 2 期彦根市環境基本計画および地域行動計画における基本方向 1 から基本方向 3 までの環境指標および個別指標の見直しについて

- ▶ 基本方向 1 の個別指標である「自然観察会の参加者数」の目標値の見直しについて、市の他部署で行っている観察会を含められないか検討し、改めて目標値を算出したほうがよい。また、環境指標である「環境学習会等の延べ参加者数」の目標値とも連動するので、こちらの目標値についても修正が必要ではないか。
- ▶ 基本方向 2 の個別指標である「環境苦情件数」を「環境苦情の解決率」に改めることについて、内訳として環境苦情の件数、解決数もわかるように整理するよう検討したほうがよい。また、環境苦情の解決率とした場合、行政で対応できるもの、対応できないものの取り扱いについても整理したほうがよい。なお、個別指標を「環境苦情の解決率」とした場合、将来的に市に寄せられる苦情件数が減ってきた場合で、解決できない苦情があると年度によって率の大きな変動が起きることも考えておいてほうがよい。
- ▶ 基本方向 2 の個別指標である「環境こだわり農家実施面積の推移（環境こだわり農家に認定された農地面積）」について、別の指標である「彦根基準の達成率」で、水等への環境負荷の減少の変化は測れるということで指標の削除を提案されているが、この個別指標は、農家が化学肥料や化学合成農薬の使用について配慮した環境に優しい取組であるとともに、農産物を消費する消費者にも安心感を与える取組であり、個別指標として残す方向で検討したほうがよい。
- ▶ 基本方向 3 の個別指標である「自然環境保全活動の開催数」について、指標の削除を提案されているが、基本方向 1 の個別指標である「自然観察会の参加者数」の取組内容を記載する項目で、把握できた自然環境保全活動の取組状況を記載するか、基本方向 1 の個別指標である「自然観察会の参加者数」を再掲するかを検討したほうがよい。

⇒上記の内容について、事務局で検討したうえで案を作成し、次回の審議会で改めて協議すること、それと合わせ、第2期彦根市環境基本計画および地域行動計画における基本方向4から基本方向6までの環境指標および個別指標の見直しについて協議することを確認した。

3. 閉会